

製品安全データシート(MSDS)

1 化学物質等及び会社情報

製品名 Osmo (オズモ)クラック閉塞用コンシーラーセット
(工程①充填材液体、工程①充填材粉体、工程②コンシーラー液体、
工程②コンシーラー粉体、Osmo-xp)

供給者 株式会社リナック八千代

所在地 〒530-0044 大阪市北区東天満2丁目10-17

担当部門 研究開発室

電話番号 06-6358-6321

FAX 番号 06-6358-6320

作成日 2020/12/01

改定日 2020/12/01

2 組成, 成分情報

工程①充填材液体

単一製品・混合物の区別 : 混合物
化学名及び一般名 : アモルファスシリカおよびアルカリ金属

工程①充填材粉体

単一製品・混合物の区別 : 混合物
化学名及び一般名 : 二酸化ケイ素を含む無機化合物

工程②コンシーラー粉体

単一製品・混合物の区別 : 混合物
化学名及び一般名 : 二酸化ケイ素を含む無機化合物

工程②コンシーラー液体

単一製品・混合物の区別 : 混合物
化学名及び一般名 : 水酸化物 (アルカリ金属)

Osmo-xp

単一製品・混合物の区別 : 混合物
化学名及び一般名 : アモルファスシリカおよびアルカリ金属

3 危険有害性の要約

工程①充填材液体、Osmo-xp

分類の名称 : 分類基準に該当しない。

火災・爆発性 : 不燃性物質。

有害性 : アモルファスシリカは、IARC でクラス 3(ある条件の下で行われた動物実験から限定された証拠はあるが、それ以外の強い支持根拠は無い)に分類されている。

工程①充填材粉体

分類の名称 : 分類基準に該当しない。

火災・爆発性 : 不燃性物質。

有害性 : 皮膚腐食性／刺激性 区分 1
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 区分 1

工程②コンシーラー粉体

分類の名称 : 分類基準に該当しない。

火災・爆発性 : 不燃性物質。

有害性 : 皮膚腐食性／刺激性 区分 1
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 区分 1

工程②コンシーラー液体

分類の名称 : 分類基準に該当しない。

火災・爆発性 : 不燃性物質。

有害性 : 皮膚腐食性／刺激性 区分 1
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 区分 1

4 応急処置

- 一般情報 : 事故発生時、または気分が悪い場合は医師の診察を受ける。
- 吸入した場合 : 新鮮な空気を与えて安静にし、速やかに医師の診断を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 直ちに多量の清水で洗浄する。
- 目に入った場合 : 直ちに流水で 15 分以上洗い流し、眼科医の処置を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 直ちに吐かせ、速やかに医師の診断を受ける。

5 火災時の措置

一般情報 : 無機物であり燃焼しない。

6 漏出時の措置

工程①充填材液体、工程②コンシーラー液体、Osmo-xp

一般情報 : 少量の場合は水で洗い流す。

多量の場合は直ちに拭き取り、塩酸、硫酸などの鉱酸にて中和する。

工程①充填材粉体、工程②コンシーラー液体

一般情報： できるだけ粉体の状態で回収する。

改修作業には保護手袋、保護メガネ、防塵マスク等の保護具を着用する。

7 取扱い及び保管上の注意

取扱い： 必要に応じて保護メガネ、防護マスク、保護手袋等の保護具を着用する。

保管： 直射日光を避け、0℃以上 40℃以下にて保管することが望ましい。

特に一度凍結した製品は、凍結前の物性等が回復しないので使用しないこと。

8 暴露防止及び保護措置

工程①充填材液体、工程②コンシーラー液体、Osmo-xp

暴露限界値等の許容濃度：未設定。

参考 二酸化珪素またはアモルファスシリカとしての日本産業衛生学会及び ACGIH、OSHA の許容濃度は以下の通り。

日本産業衛生学会許容勧告値；

遊離珪酸 30%以上の粉塵 2 mg/m³

遊離珪酸 30%未満の鉍物性粉塵 5 mg/m³

ACGIH；

Silica (Amorphous) fume TLV-TWA 2.0 mg/m³ (Respirable)

Silica (Amorphous) fused TLV-TWA 0.1 mg/m³ (Respirable)

OSHA；

Silica (Amorphous) PELs-TWA 20 mppcf (million particles per cubic feet)

PELs-TWA 0.8 mg/m³ (Total dust)

防止対策： 保護メガネ、防護マスク、ゴム手袋等の保護具を着用する。

工程①充填材粉体、工程②コンシーラー粉体

管理濃度（労働安全衛生法・作業環境評価基準） 3.0 mg/m³

許容濃度

日本産業衛生学会（2009年度版）

第2種粉塵 吸入性粉塵 2 mg/m³

総粉塵 8 mg/m³

防止対策： 保護メガネ、防護マスク、保護手袋等の保護具を着用する。

設備対策：室内で取り扱う場合は管理基準以下にするために十分な能力を有する換気装置を備える。

9 物理的及び化学的性質

工程①充填材液体

外観 : 無色透明の液体

臭気 : 無臭

物理的及び化学的性質 :

比重 1.210~1.270 (20℃)

pH 11.0~12.5 (20℃)

工程①充填材粉体

外観 : 灰白色の粉体

臭気 : 無臭

物理的及び化学的性質 :

融点 1,000℃以上

pH 水と接触すると 11.0 以上

溶解性 水に難溶

自然発火温度 非該当

引火点 非該当

分解温度 データなし

その他 爆発性なし、水硬性

工程②コンシーラー粉体

外観 : 灰白色の粉体

臭気 : 無臭

物理的及び化学的性質 :

融点 1,000℃以上

pH 水と接触すると 11.0 以上

溶解性 水に難溶

自然発火温度 非該当

引火点 非該当

分解温度 データなし

その他 爆発性なし、水硬性

工程②コンシーラー液体

外観 : 無色の液体

臭気 : 無臭

物理的及び化学的性質 :

比重 1.200~1.280 (20℃)

pH 13.2~14.0 (20℃)

Osmo-xp

外観 : 無色透明の液体

臭気 : 無臭

物理的及び化学的性質 :

比重 1.220~1.300 (20℃)

pH 12.2~13.0 (20℃)

10 安定性及び反応性

工程①充填材液体、工程②コンシーラー液体、Osmo-xp

一般情報 : 通常の取扱い条件において危険な反応等は報告されていない。

避けるべき条件 : 凍結させた場合、分散質成分がゲル化することがある。

避けるべき物質 : 酸、アルカリを添加した場合、ゲル化することがある。

危険有害な分解生成物 : データなし。

工程①充填材粉体、工程②コンシーラー粉体

安定性 : 通常取扱い条件（常温）では安定。

危険有害反応可能性 : 該当しない。

避けるべき条件 : 粉塵の拡散。

危険有害な分解生成物 : 該当しない。

11 有害性情報

工程①充填材液体、工程②コンシーラー液体、Osmo-xp

急性毒性 : 区分外

感作性 : 区分外

慢性毒性 : 区分外

長期毒性 : 区分外

参考 アモルファスシリカとしては以下の通り。

急性毒性

煙霧状 ;	静脈—ラット	LD ₅₀ : 15 mg/kg
溶融物 ;	経口—ラット	LD ₅₀ : 3160 mg/kg
	静脈—マウス	LDLo : 9 mg/kg
	静脈—ウサギ	LDLo : 35 mg/kg
	腹腔—モルモット	LDLo : 120 mg/kg
	静脈—モルモット	LDLo : 100 mg/kg

工程①充填材粉体、工程②コンシーラー粉体

急性毒性： 区分外

皮膚腐食性・刺激性、眼に対する重篤な損傷・刺激性：

水と接触すると強アルカリ性（pH 11 以上）を呈し、眼、鼻、皮膚に対し刺激性があり、眼の角膜、鼻の内部組織、皮膚に炎症を起こす可能性がある。

生殖細胞変異原性： 区分外

発がん性： 区分外

参考 二酸化ケイ素としては以下の通り。

急性毒性：

経口—ラット LD50：>10,000 mg/kg

経皮—ウサギ LD50：>5,000 mg/kg

吸入—ウサギ LC0：0.139mg/ l /4 h

皮膚腐食性・刺激性

腐食性 データなし

刺激性—ウサギ 刺激性なし

眼に対する重篤な損傷・刺激性

刺激性—ウサギ 刺激性なし

12 環境影響情報

残留性、分解性： 該当なし

生態蓄積性： 該当なし

生態毒性 魚毒性： 該当なし

13 廃棄上の注意

工程①充填材液体、工程②コンシーラー液体、Osmo-xp

一般情報： 地域の規則に従う。

必要に応じて保護メガネ、防護マスク、ゴム手袋等の保護具を着用する。

残余廃棄物： 廃液、残液はアルカリ性であり、塩酸等の鉱酸により中和する。

工程①充填材粉体、工程②コンシーラー粉体

一般情報： 地域の規則に従う。

必要に応じて保護メガネ、防護マスク、保護手袋等の保護具を着用する。

残余廃棄物： 固化後、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき廃棄する。

14 輸送上の注意

工程①充填材液体、工程②コンシーラー液体、Osmo-xp

一般情報： 本製品は消防法上での危険物ではない。

直射日光を避け、0℃以上 40℃以下にて輸送することが望ましい。

工程①充填材粉体、工程②コンシーラー粉体

一般情報 : 本製品は消防法上での危険物ではない。
容器からの漏れ等の防止を確実に行う。
湿気、水濡れに注意する。

15 適用法令

工程①充填材液体、工程②コンシーラー液体、Osmo-xp

労働安全衛生法 : 第 57 条の 2 施行令第 18 の 2 別表第 9
(通知対象物質); シリカ (コンシーラー反応促進剤は該当しない)

PRTR 法 : 該当しない

工程①充填材粉体、工程②コンシーラー粉体

労働安全衛生法 (粉じん障害防止規則)

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

化学物質管理促進法: 第一種、第二種指定化学物質に該当しない。

PRTR 法: 該当しない

16 その他の情報

記載内容は、現時点で入手しえる資料、情報、データ等に基づいて作成しておりますが、必ずしもすべての情報を網羅しているものではありませんので、取扱いには充分注意してください。

注意事項は通常の実施を前提としたものなので、特殊な取扱いの場合には、ご使用者各位の責任においてその用途・用法に適した安全対策を実施の上ご利用ください。

また含有量、物理化学的性質、危険有害性等に関しては情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。

引用文献: 日本工業規格 JIS Z 7250(2005)「化学物質等安全データシート」